



はぐはぐポケットから

遅い梅雨入りを迎え、太陽の日差しが恋しい季節となりました。はぐポケは4月に移転をして早2か月が過ぎました。はぐポケのお預かりのお子さんたちと、併設する広場の親子さんとの賑やかな声が毎日移転先の「TeToTe」に元気に響き渡っています。「子ども子育て複合施設 TeToTe」の注目度に伴い、登録者・利用者が増え、連日たくさんのお預かりを受ける日々です。また、お預かりする子どもたちも日々成長し、大きい子はお友達との関わりが密になったり、小さい子が大きい子の真似をして遊びが広がったりしています。家庭では味わえない、一時預かりならではの良さが子どもたちの刺激になっているように感じ、日々子どもたちの成長に私たち保育者もやりがいを感じています。子どもたちの成長を見守りながら、新しい場所での最善の保育を引き続き整えていきたいと思っております。

子どもの世界、遊びの世界

はぐポケで過ごすおさんは、年齢はもちろん、遊び方も様々で、ひとつのおもちゃや遊具の使い方についてもその時々や、おさんによって、色々な遊び方や発想が生まれ、大人の私たちはいつも感心させられています。最初は緊張気味だった子が保育者にしがみつきながらも少しずつ慣れ、気付けば大人から離れて、楽しそうにごっこ遊びに夢中になっている姿はとても微笑ましく思います。また自分の遊びにひたすら集中しているおさんもいます。電車や車をじっと眺め、自分もその中に乗り込んでいくかのように視線を合わせたり、ブロックを延々と線路や道路に見立てて繋げたりと、世界に浸っているのです。そういう場面では敢えて声掛けなどせず、しばらく静かに見守ります。そんな子どもたちの遊びの世界や集中している時間なども大事にしながらかかりの日々を過ごしています。

【はぐはぐポケットで大切にしていること】

保護者の方に「ポケットでのお預かりの様子」をお伝えし、また保護者の方から「家庭での様子」を教えていただき、お子さんが安定して生活できるようにサポートします。

ちょっとした悩み事、愚痴、など。もちろん、嬉しかったこと、お子さんのかわいいところ。他愛もないことでもいろいろお話ししてくださいね。一時預かりは一期一会と言われていますが、その一期一会を大切にしています。

保護者の方とはぐポケで、お子さんを「共育（共に育てる）」していきましょう。

保育室 壁面の木

保育室の壁には大きな木の壁面があり、小鳥が飛び、お花や木々が季節によって色を変えながら飾ってあります。

春には桜の花が優しい緑色の木に咲き、梅雨の今、深く鮮やかな緑色の木に雨が降り注ぎ、カタツムリと紫陽花が満開です。

気が付いた子ども達は見上げながら笑顔で指を指したり、保育者と会話する姿も見られます。

これからも季節を感じられるようなお部屋作りをしていきたいと思っております。



「はぐはぐポケット中央」は、乳幼児を育てている保護者が、ちょっとリフレッシュしたい時…おさん連れでは行けない用事の時…一人になりたい時…など、理由を問わずおさんを一時的にお預かりしています。対象となるおさんは、柏市内にお住まいの、保育所・幼稚園・認定こども園に通っていない、または在籍していない、生後6ヶ月から就学前までのお子様。こども園(教育利用)・幼稚園の預かり保育を利用できない乳幼児。市内に里帰りしている方は、はぐはぐポケット中央までご相談ください。

この事業は、柏市より乳幼児一時預かり保育事業を受託し、「特定非営利活動法人 赤ちゃんのほっぺ」が運営しています。

法人連絡先： 柏市柏1-7-1-301 DayOne タワー3階 パレット柏内 TEL 090-8708-2718 E-mail aka.hoppe.mail@gmail.com